

令和8年度 第1回学校運営協議会（記録）

令和8年度第1回学校運営協議会を、令和8年6月17日（水）10時00分より、6名の委員の出席のもと開催しました。

令和8年度の学校運営協議委員は、次の方々です。

- ・天坂浩之様（本校PTA会長）
- ・高橋謙一郎様（金山連合町内会 会長） *欠席
- ・鎌田典子様（札幌大学 教授）
- ・能登明美様（北海道立子ども総合医療・療育センター 看護部長）
- ・伊藤翔太様（NPO 法人ツリーフィールド 理事長）
- ・鴻江康人（本校 校長）
- ・白木宜子（本校 主幹教諭）

学校見学では、幼稚部から高等部までの授業の様子を参観していただきました。子どもたちは、委員の皆様を前に、少し緊張していた様子や、顔見知りの委員の方を見つけ、笑顔を見せたり、懐かしい話で盛り上がったりするなどしていました。

また、廊下に掲示してある図工の作品や作文等に目を向け、真剣に見入っている委員の方々の様子も見られました。

学校見学中、本校と隣接する北海道立子ども総合医療・療育センター（以下、コドモックル）に入院している生徒が、コドモックルのリハビリ室からリハビリを終えて教室に戻ってくる様子を見ていただきながら、自宅から通学している通学生との違いなどを説明させていただきました。

次に、校長から「令和8年度学校経営方針」の説明を行いました。本校の特性でもあるコドモックルへの入退院に伴う幼児児童生徒の転出入が頻回にある状況や、個別最適な学びにつながる学校の取り組み、教職員にとってもやりがいのある組織づくりなどについて、グランドデザインを用いながら具体的に説明をし、学校経営方針に対して、委員の皆様の承認を得ることができました。

続いて、各学部主事よりスライドを用いて学部紹介を行いました。普段の学習の様子や、運動会や文化祭等の学校行事、見学旅行や宿泊研修などの旅行行事や社会見学などの校外学習、その他、様々な学習の取り組みについて、写真を用いながら説明しました。



次に、熟議として「地域と連携した活動について」について、意見交換を行いました。

委員の皆様からは、「各学部の交流及び共同学習において、以前から交流している学校と深めつつ、近隣の場所に出向くなど、新しいつながりを見つけても良いのではないか」「各行事に参加しているボランティアを募る大学についても、近隣大学を含めて依頼をするなど、つながりを広げていくと良いのではないか」「地域のイベントとして『手稲夏あかり』があるが、そこに作品を出品し、地域とのつながりを広げていけたら良いのではないか」「医療と教育が隣接している施設というのはなかなかないため、看護協会なども、とても興味があることだと思うので、つながりも持てるのではないか」など、積極的な意見が出ました。

また、外部から見た本校のイメージなどについて、「コドモックルに入院しているお子さんが学んでいるイメージがとても強い」「治療面はもちろん、精神面にも配慮し、子ども一人一人の状況に配慮しながら学習を行っていることは、医療の面からも、とてもありがたいこと。今後も医療・教育が連携をしながらよりよい関係を継続していきたい」など、委員それぞれの立場からの意見を積極的に交流することができました。

最後に、校長より、今回の委員の皆様からの意見を反映しながら学校経営に努めていくこと、9月には地域と合同の自衛消防訓練を計画しており、地域の方々との関わりについても広げていきたいこと、今後も様々な取り組みを通してご協力いただきたいことなどを伝えました。

次回は、12月に開催予定です。



(主幹教諭 白 木 宜 子)